

第53回 国際化学オリンピック2021 日本大会

事業報告書



国際化学オリンピック日本委員会

第53回国際化学オリンピック2021日本大会 事業報告書

目次

国際化学オリンピックと日本	1
第53回国際化学オリンピック2021日本大会	1
科学技術振興機構（JST）の支援事業に採択	1
特定非営利活動法人「国際化学オリンピック日本委員会」設立	2
準備活動の開始	2
募金活動	3
業務委託事業先の選定と事業委託	3
新型コロナウイルス感染拡大への対応、リモート開催の決定	4
第53回国際化学オリンピック2021日本大会のリモート大会方針	5
「第53回国際化学オリンピック2021日本大会」概要	6
スケジュール	6
参加国・参加人数	7
公式行事	10
試験	10
成績表	12
アクティビティ	22
事業対象3カ年の収支	24
第53回国際化学オリンピック2021日本大会収支（2019.4.1～2021.3.31）	25
寄付：法人企業（五十音順）	26
寄付：個人（五十音順）	29
委員会	30
組織図	30
協力委員	37
ご協力御礼（敬称略）	40
謝辞	42



第53回国際化学オリンピック2021日本大会 事業報告書



事業名：第53回国際化学オリンピック2021日本大会

事業主体：国際化学オリンピック日本委員会

【国際化学オリンピックと日本】

国際化学オリンピックは世界各国で選抜された高校生が一堂に集まり、実験試験、理論試験（それぞれ5時間）に取り組み、化学の知識、実力を競う国際大会である。また開催国の科学、文化・社会にふれ、生徒同士のコミュニケーション、交流を深めることによって、将来の科学グローバル人材の育成に寄与することを目的とする。

1968年、プラハ（当時チェコスロバキア）で第1回国際化学オリンピックが開催され、年々開催国が拡大し、現在、世界80数カ国・地域から300名以上の生徒とメンター200名の約500名が参加する規模に拡大している。

日本代表は2003年の第35回アテネ大会から参加し、以降毎年、日本代表生徒全員がメダルを獲得している。

また2010年には初めてわが国で、第42回国際化学オリンピック日本大会（日本委員会委員長・組織委員会委員長：野依良治）を東京で開催した。

【第53回国際化学オリンピック2021日本大会】

第53回国際化学オリンピック2021日本大会は2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことを背景に文部科学省から日本化学会に国際化学オリンピックの誘致、可能性について打診があり、日本化学会化学オリンピック支援委員会が招致方針を決定、2015年5月11日開催の日本化学会第624回理事会において了承された。日本化学会化学オリンピック支援委員会の近藤忠夫委員長（当時）が同年開催の第47回国際化学オリンピックアゼルバイジャン大会に参加し、Jury Meetingでプレゼンテーションを行い、正式立候補し、投票の結果、満場一致で採択・承認され、2021年の日本開催が決定した。

【科学技術振興機構（JST）の支援事業に採択】

科学技術振興機構（JST）に国際科学技術コンテスト支援事業企画提案書を日本化学会（山本尚会長）

名で2017年2月10日に提出、審査会を経て、3月13日付で採択した、との通知があった。事業計画および資金計画（予算総額約5億円、国の助成期間は2019年～2021年の3カ年を対象に総事業費の2分の1を上限として助成）が了承された。

【特定非営利活動法人「国際化学オリンピック日本委員会」設立】

(1) 日本化学会では2010年開催の第42回国際化学オリンピック日本大会関係者にヒアリング、基本計画を立案、日本化学会第633回理事会（2017年2月6日）で2017年3月に準備会、秋を目途に日本委員会を設立する方針を決定した。

これを受けて「国際化学オリンピック日本委員会設立準備会」（主査：中條善樹京都大学教授）を4月3日付けで設置、事務所を東京都千代田区神田駿河台1-5の化学会館3階の一室に開設した。

(2) 2017年5月17日、「国際化学オリンピック日本委員会」の設立総会を開催、発足した。同年6月5日付で東京都に特定非営利活動法人の認証申請を行い、7月27日付けで認証、続いて東京法務局に法人登録を申請、8月4日付けで登記され、「特定非営利活動法人国際化学オリンピック日本委員会」となった。

【準備活動の開始】

2017年12月6日、化学会館において第53回国際化学オリンピック2021日本大会組織委員会を開催、玉尾皓平組織委員会委員長、高橋恭平同副委員長・募金委員会委員長、中條善樹同・実行委員会委員長、西原寛同・科学委員会委員長、近藤忠夫同・財務委員会委員長が選任され、事業計画についても了承を得た。

これを受けて実行委員会、科学委員会、募金委員会、財務委員会の各委員会はそれぞれ第1回会議を開催、担当業務について検討、準備活動を開始した。

(1) 実行委員会（2018年2月7日 大阪科学技術センター）

会場小委員会、総務小委員会、行事小委員会、技術小委員会、広報小委員会を設置し、具体的な事業について検討を開始した。

(2) 科学委員会（2018年4月24日 化学会館）

筆記問題小委員会、実験問題小委員会を設置し、理論問題および実験問題について「準備問題」「本問題」の検討を開始した。

(3) 募金委員会（2018年6月7日 化学会館）

募金委員会、募金小委員会で化学企業を中心に募金活動を開始した。

(4) 財務委員会（2018年8月7日 大阪科学技術センター）

2019～2021年の3カ年の収支計画について確認した。

【募金活動】

(1) 募金委員会

募金委員会、募金小委員会は化学企業、化学関連企業、商社などの法人・企業、個人に対して、国際化学オリンピックの目的、日本開催の意義、次世代化学人材育成などを訴え、募金活動に取り組んだ。

また、寄付者の税額控除を可能とするため、2020年7月22日、東京都に「認定特定非営利活動法人」(認定NPO)の認定を申請した(事業開始から2事業年度を経過しないと申請資格が得られない)。

新型コロナウイルス感染拡大などで審査期間が長期化し、2021年3月15日付けで東京都から「認定NPO法人国際化学オリンピック日本委員会として認定する」旨の通知があり、認定NPOとして寄付税額控除が可能になった。

募金活動による寄付金は法人・企業178社2億1840万9983円、62名の個人から221万9000円、合計2億2062万8983円となり、募金目標額2億1000万円を上回り、達成した。

(2) その他寄付

国際化学オリンピック国際運営委員会(IChO Steering Committee)は経済的支援が必要な参加国への補助を目的に寄付を受け付けている。第53回国際化学オリンピック2021日本大会にはACS(American Chemical Society)、IUPAC(International Union of Pure and Applied Chemistry)、CSLT(Chemical Society Located in Taipei)から6500ドル(70万8740円)の寄付を受けた。

【業務委託事業先の選定と事業委託】

第53回国際化学オリンピック2021日本大会における宿泊施設、大会期間中の食事の手配、開会式・閉会式、リユニオンなど公式行事の企画・運営、エクスカージョンの企画運営などについて、業務を委託することにした。

業務委託先を公正に選定するため、指名競争入札を実施することにした。大手旅行代理店6社のなかから、国際機関・団体、学会等が行う国際会議の企画・運営を主たる業務とする「MICE」事業部を有する株式会社JTB、株式会社近畿日本ツーリスト、株式会社日本旅行の3社に競争入札参加を依頼した。

審査委員会(主査:中條善樹実行委員長)を設置し、2018年11月5日、大阪科学技術センター会議室にて業務委託説明会を開催、同年12月11日に大阪科学技術センター会議室で3社によるプレゼンテーションおよび審査会を行った。

厳正な審査を実施した結果、「審査委員会として株式会社近畿日本ツーリストが業務委託するに値

する」との審査結果を国際化学オリンピック日本委員会に提出した。日本委員会ではメール審議で審査結果を了承し、株式会社近畿日本ツーリストに業務を委託することを決定した。

業務委託決定後、近畿日本ツーリストと実行委員会、総務小委員会、行事小委員会、事務局と宿泊施設、大会期間中の食事の手配、開会式・閉会式、リユニオンなど公式行事の企画・運営、エクスカーションの企画・運営、登録システムの開発・運営などについて逐次、検討・協議し、合意を得ながら、施設予約、企画の立案、実行計画の作成など具体的な準備に取り組んだ。

ただ、下記記述するように、第53回国際化学オリンピック2021日本大会が新型コロナウイルス感染拡大からリモート開催となり、急遽大幅な企画変更を余儀なくされたが、大会方針に基づき、リモート企画・運営の変更、VRによる開会式・閉会式などの動画制作、登録管理などについて引き続き業務を委託した。

【新型コロナウイルス感染拡大への対応、リモート開催の決定】

募金委員会、実行委員会、科学委員会では第53回国際化学オリンピック2021日本大会に向けて、鋭意準備を進めていたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が続くなか、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックが2021年に延期、国際化学オリンピックにおいても第52回トルコ大会2020がリモート開催となった。

このため国際化学オリンピック日本委員会でも新型コロナウイルスの世界の感染状況の推移を注視するとともに、通常大会開催の方針を維持する一方で、リモート大会への変更の可能性についても検討を開始した。

2020年秋以降についても世界的に新型コロナウイルス収束の兆しが見えないことから、運営幹事会では2020年12月、「世界80カ国を超える国々の代表生徒、メンター、大会関係者の感染リスクに対して安全性を担保できないため、通常開催は困難」と判断し、国際化学オリンピック国際運営委員会（IChO S.C.(= Steering Committee)、Gábor Magyarfalvi委員長）にリモート開催への変更を提案した。

これに対して、IChO S.C.では2021年1月14日～15日、S.C.ミーティング（Zoom会議）を開催し、リモート開催の可否について協議したが、主催者（国際化学オリンピック日本委員会）の決定が優先されるとし、最終決定は持ち越された。これを受けて1月23日に運営幹事会（組織委員会委員長、実行委員会正・副委員長、科学委員会正・副委員長）を開催し、国際化学オリンピック日本委員会として「第53回国際化学オリンピック2021日本大会はリモート開催とする」方針を決定、令和2年度臨時総会（2月1日成立）において正式に決定し、2月27日の臨時S.C.ミーティング（Zoom）において報告し、第53回国際化学オリンピック2021日本大会はリモート開催とすることが承認された。

【第53回国際化学オリンピック2021日本大会のリモート大会方針】

第53回国際化学オリンピック2021日本大会は公正・公平な試験を実施するとともに、最先端科学施設の紹介、コミュニケーションの“場”の設営などリモートならではの魅力的なコンテンツを用意することによって、国際化学オリンピックの目的を実現する。

1. 試験はリモート開催にともない実験試験を中止、理論試験だけを実施することとし、公正・公平な試験を行う。
2. 国際化学オリンピックの目的のひとつである国際交流を確保するため、VR技術による開会式、閉会式、コミュニケーションの“場”を設ける。
3. エクスカーションはリモートならではの企画（科学研究施設見学など）を実施する。
4. 中止となる実験試験は代替企画を検討する。

以上の方針のもとに具体的な検討、実行計画の策定・準備を行った。

第53回国際化学オリンピック2021日本大会

【会 期】 2021年7月25日（日）～8月2日（月） 9日間

主催：国際化学オリンピック日本委員会

共催：国立研究開発法人 科学技術振興機構

後援：文部科学省、経済産業省、大阪府教育委員会

【開催形式】 リモート開催

【参加国】 84カ国・地域（参加国79カ国・地域／オブザーバー参加5カ国）

【参加人数】 総参加者709名

代表生徒312名（内309名が受験）、メンター160名、オブザーバー51名、
ゲスト1名、インビジレーター185名

【大会本部】 都ホテル京都八条

【スケジュール】

Date	JST Time (UTC+9)	Student	Mentor/Observers	Invigilator	SC	Organizer
Jul 22, Thu	21:00				Mock exam	
Jul 23, Fri	21:00		Training of Oly-Exam (Zoom)			
Jul 24, Sat	0:00 21:00			Training of Oly-Exam (Zoom)	Mock discussion	Mock discussion
Jul 25, Sun	15:00 21:00	Opening Ceremony	Opening Ceremony Receipt of the problem for review (Oly-Exam)	Opening Ceremony	Opening Ceremony	Opening Ceremony Publication of the problem (Oly-Exam)
Jul 26, Mon	9:00 21:00		Deadline of feedback (Oly-Exam) Jury meeting (Zoom)		Jury meeting (Zoom)	Jury meeting (Zoom)
Jul 27, Tue	9:00		Receipt of the authorized problem for translation and submission (Oly-Exam)			Publication of the final version of official problem (Oly-Exam) Information of erratum (Zoom)
Jul 28, Wed	9:00 14:00 ↓ 29:00 21:30	Examination (5 h) Asia → Europe → America	Deadline of translation	Receipt of the problem to print out (Oly-Exam) Submission of the solutions (Oly-Exam) within 2 hours after the end of the examination		Observation of every examination (Zoom/video) Receipt of all solutions (Oly-Exam) and reports (mail)
Jul 29, Thu	9:00 9:00 23:00	SPring-8 virtual tour	Receipt of the answer with grading scheme (Oly-Exam) SPring-8 virtual tour Receipt of scores from Organizer (Oly-Exam) Request for arbitration (Oly-Exam)		SC meeting (Zoom)	Distribution of the answer with grading scheme (Oly-Exam) Publication of scores (Oly-Exam)

Date	JST Time (UTC+9)	Student	Mentor/Observers	Invigilator	SC	Organizer
Jul 30, Fri	9:00	Video of Practical Task	Video of Practical Task		Jury meeting (Zoom) SC meeting (Zoom)	Jury meeting (Zoom)
	20:00		Deadline of arbitration request			
	21:00		Jury meeting (Zoom)			
Jul 31, Sat	9:00	Video of preserving cultural assets	Arbitration (Zoom) Asia → Europe → America			Arbitration (Zoom)
Aug 1, Sun	6:00	Virtual visit for Himeji Catle, Osaka, Kyoto	Receipt of final results (mail)			Report of final points (mail)
	9:00		Virtual visit for Himeji Catle, Osaka, Kyoto			
	12:00		Deadline of argument			
Aug 2, Mon	21:00	Closing Ceremony	Closing Ceremony	Closing Ceremony	Closing Ceremony	Closing Ceremony

[参加国・参加人数]

Country	Student	Mentor	Observer	Guest	Invigilator	Total
Armenia	4	2			1	7
Australia	4	2			4	10
Austria	4	2	2		2	10
Azerbaijan	4	2			2	8
Bangladesh	4	2	2		4	12
Belarus	4	2			2	8
Belgium	4	2			2	8
Brazil	4	2	1		2	9
Bulgaria	4	2			4	10
Canada	4	2			4	10
China	4	2	4		2	12
Chinese Taipei	4	2	2		2	10
Costa Rica	3	2			2	7
Croatia	4	2			2	8
Cyprus	4	2			2	8
Czech Republic	4	4			1	9
Denmark	4	2			2	8
El Salvador	4	2			4	10
Estonia	4	2			1	7
Finland	4	2	1		2	9
France	4	2			1	7
Georgia	4	2	2		4	12
Germany	4	2	1		3	10
Greece	4	2			1	7

Country	Student	Mentor	Observer	Guest	Invigilator	Total
Hungary	4	2	1		1	8
Iceland	4	2			1	7
India	4	2	1		9	16
Indonesia	4	2	1		4	11
Iran	4	2			2	8
Ireland	4	2	2		4	12
Israel	4	2	1		1	8
Japan	4	2	2	1	3	12
Kazakhstan	4	2			2	8
Korea	4	2	2		2	10
Kyrgyzstan	4	2			2	8
Latvia	4	2			1	7
Lithuania	4	2			2	8
Luxembourg	4	2			1	7
Malaysia	4	2			4	10
Mexico	4	2			2	8
Moldova	4	2			2	8
Mongolia	4	2	2		2	10
Montenegro	4	2			2	8
Netherlands	4	2			3	9
New Zealand	4	2			3	9
Nigeria	3	2			1	6
North Macedonia	4	2			1	7
Norway	4	2			2	8
Oman	4	2			4	10
Pakistan	4	2			3	9
Philippines	4	2			5	11
Poland	4	2	1		1	8
Portugal	4	2			2	8
Qatar	4	2	2		2	10
Romania	4	2			3	9
Russian Federation	4	2	2		1	9
Saudi Arabia	4	2	2		1	9
Serbia	4	2			2	8
Singapore	4	2	1		2	9
Slovakia	4	2			1	7
Slovenia	4	2			2	8

Country	Student	Mentor	Observer	Guest	Invigilator	Total
South Africa	4	2			2	8
Sri Lanka	4	2			4	10
Sweden	4	2	1		3	10
Switzerland	4	2	3		2	11
Syria	4	2			3	9
Tajikistan	4	2			1	7
Thailand	4	2	2		3	11
Trinidad and Tobago	4	2			2	8
Turkey	4	2			3	9
Turkmenistan	4	2			1	7
Ukraine	4	2			2	8
United Arab Emirates	4	2			1	7
United Kingdom	4	2	2		1	9
United States of America	4	2	2		4	12
Uruguay	4	2			2	8
Uzbekistan	4	2			1	7
Venezuela	2	2			4	8
Vietnam	4	2	1		4	11
Afghanistan			1			1
Ecuador			1			1
Kuwait			1			1
Nepal			1			1
Paraguay			1			1
total	312	160	51	1	185	709

【公式行事】

開会式および閉会式の公式行事はVR (Virtual Reality)、アバター技術を活用し、仮想会場で実施した。参加者のアバターを作成することによって、世界各国のほとんどの代表生徒、メンターが参加した。

また開会式、閉会式の映像はそれぞれの式終了後、第53回国際化学オリンピック2021日本大会ホームページで公開した。

[<https://www.icho2021.org/jp/video/>]

(1) 開会式 (VR空間にて) 7月25日(日) 日本時間15:00から開催した。

1. オープニング [制作VTR]
2. スポンサー紹介 [PPT編集⇒VTR]
3. 玉尾皓平組織委員会委員長 開会挨拶 [事前撮影VTR]
4. 萩生田光一文部科学大臣 動画メッセージ [事前撮影VTR]
5. 吉野彰先生 動画メッセージ [事前撮影VTR]
6. 国別学生紹介スライド [PPT編集⇒VTR]
7. 大会の周知事項説明 (スケジュール、アバターの使用方法など)

(2) 閉会式 (VR空間にて) 8月2日(月) 日本時間21:00から開催した。

1. オープニング [制作VTR]
2. スポンサー紹介 [PPT編集⇒VTR]
3. 試験結果の考察 (西原寛科学委員会委員長) [事前撮影VTR]
4. 表彰式 (VR、アバターによる代表生徒、メンターの参加)
5. Gábor Magyarfalvi IChO Steering Committee 委員長挨拶 [事前撮影VTR]
6. 高橋恭平組織委員会副委員長 閉会挨拶 [事前撮影VTR]
7. 大会委員紹介 [PPT編集⇒VTR]
8. IChO フラッグセレモニー [アバター映像]
9. Prof. Jun Chen 第54回IChO組織委員会委員長 挨拶 [事前撮影VTR]
10. フィナーレ

【試験】

理論試験はリモート開催に対応してセキュリティレベルの高いシステム「Oly-Exam」を導入し、公平・公正な試験体制を構築するとともに、各国に試験ガイドラインを周知徹底し、実施した。

(1) 問題

理論試験問題は科学委員会が作成した9問について、Jury meeting で審査、決定されたもので、

一部修正を実施、7月27日に公式英語版最終版を発表した。各国メンターが各国現地語に翻訳する作業に入り、28日9:00（日本時間、以下同）に全参加国で翻訳が完了した。

[公式英語版最終版 <https://www.icho2021.org/pdf/Official%20English%20version.pdf>]

(2) 試験日程

試験日は通常大会と同様に大会4日目の平日（宗教上の理由による）とし、本大会では日本時間7月28日（水）～29日（木）に実施した。

(3) 実施体制

試験時間は世界同時間帯で実施した。コアタイムを19:00～24:00に設定し、この前後5時間の合計15時間を試験時間枠とした。時差によって各国がそれぞれ実施可能な時間帯を申請し、当該時間に試験会場と大会本部（京都市）の試験監視会場をZoomで接続し、試験を実施した。時差によって、コアタイム時間帯に試験が終了している、あるいはまだ始まっていない国には、参加生徒によるコアタイム中の通信・通話を完全に禁止した。

(4) 試験監督

各国試験会場の試験監督については各国に信頼あるインビジレーターを推薦してもらい、誓約書をとったうえで指名した。インビジレーターには、試験の監督だけでなく、コアタイム時間中の通信・通話禁止も監督してもらった。

Zoomでの試験監視は大会本部監視会場にPC100台、Zoomアカウント100を用意、各国の試験会場と接続し、試験会場内部、持ち物のチェック、試験監視を実施、それぞれ映像録画・音声録音を行い、それぞれ不正がなかったことの証明とした。

(5) 自宅試験

新型コロナウイルス感染拡大によって行動制限がある国については、信頼ある監督者の確保を条件に、自宅を受験会場とすることを認めた。

(6) セキュリティ

試験問題、翻訳試験問題、解答用紙の提示についてはOly-Examを利用し、採点結果についての各国メンターとの交渉についてはZoomを使用した。

(7) 採点・結果確定

7月29日23:00、採点結果を公表し、採点結果について各国メンターとの交渉が行われた。厳正に審議した最終結果を8月1日6:00に各国に送り、6時間の異議申し立て時間を設けた。これに異議はなく、同日12:00、全生徒の成績が確定した。

[成績表]

Gold Medal

Rank	Name	Country	Medal	Total
1	Shu Yang	China	Gold	97.57
2	Zhangyi Huang	China	Gold	97.08
3	Xinyu Cai	China	Gold	95.61
4	Bangsen Zhao	China	Gold	94.39
5	Sobirjon Amanov	Uzbekistan	Gold	92.14
6	Mircea Raul Bodrogean	Romania	Gold	90.54
7	Aleksandr E. Trofimov	Russian Federation	Gold	88.67
8	Anh Duy Nguyen	Vietnam	Gold	88.43
9	Bo-An Chen	Chinese Taipei	Gold	88.33
10	Georgii M. Zhomin	Russian Federation	Gold	88.13
11	Chun-Cheng Ting	Chinese Taipei	Gold	87.96
12	Phuong Duc Nam Pham	Vietnam	Gold	86.86
13	Qiyang Zhou	United States of America	Gold	86.83
14	Berkan Tarak	Turkey	Gold	86.20
15	Chen Yizhou	Singapore	Gold	85.35
16	Alexander Ramsay Thow	United Kingdom	Gold	84.33
17	Rui-Xi Wang	Chinese Taipei	Gold	84.05
18	Cheng Jun, Nicholas Goh	Singapore	Gold	83.99
19	Nir Cohen	Israel	Gold	83.71
20	Timofey A. Charkin	Russian Federation	Gold	83.59
21	Tudor Lile	Romania	Gold	82.69
22	Adarsh Reddy Madur	India	Gold	81.99
23	Mahbod Alian Fini	Iran	Gold	81.76
24	Deniz Guner	Turkey	Gold	81.34
25	Andrei S. Tyrin	Russian Federation	Gold	81.31
26	Dhananjay Raman	India	Gold	81.30
27	Yitian Zhu	United States of America	Gold	81.03
28	Filip Hůlek	Czech Republic	Gold	80.95
29	Harry John List	United Kingdom	Gold	80.90
30	Anh Le Thao Nguyen	Vietnam	Gold	80.33
31	Mahyar Afshinmehr	Iran	Gold	80.17
32	Myeongjin Shin	Korea	Gold	80.14
33	Alexandru Catalin Dianu	Romania	Gold	79.82

Silver Medal

Rank	Name	Country	Medal	Total
34	Duong Hoang Nguyen	Vietnam	Silver	79.05
35	Stefan Dimitriu	Romania	Silver	78.81
36	Sebnem Gul	Turkey	Silver	78.81
37	Uladzislau Hlatankou	Belarus	Silver	78.74
38	Alphonsus Yu Xiang Neo	Singapore	Silver	77.76
39	Michal Piotr Lipiec	Poland	Silver	77.48
40	Oscar Dong	Australia	Silver	77.22
41	Seung Jae Kang	Korea	Silver	76.88
42	Nikhil Seshadri	United States of America	Silver	76.11
43	Faatih Regind Qashash Roman	Indonesia	Silver	76.06
44	Bernard Tze Wei Kwee	Singapore	Silver	75.83
45	Hsuan-Ting Lin	Chinese Taipei	Silver	74.87
46	Mahit Rajesh Gadhiwala	India	Silver	74.29
47	Seyed Mohammad Hossein Barakati	Iran	Silver	72.82
48	Oisín Colm Ó Feinneadha	Ireland	Silver	72.75
49	Oleksandr Zaporozhets	Ukraine	Silver	71.96
50	Goktug Gulsoy	Turkey	Silver	70.76
51	Shahzod Nazirov	Tajikistan	Silver	70.49
52	Hee Seong Yoon	Korea	Silver	69.93
53	Jirapat Rujirayuk	Thailand	Silver	69.79
54	Jovan Marković	Serbia	Silver	69.42
55	Linus Albert Schwarz	Germany	Silver	69.32
56	Muhammad Barotov	Tajikistan	Silver	68.80
57	Vinicius da Silveira Lanza Avelar	Brazil	Silver	68.34
58	Lucio Saracco	Hungary	Silver	67.68
59	Ioannis Karageorgiou	Greece	Silver	67.17
60	Nichawadee Kanjanakosit	Thailand	Silver	67.03
61	Davut Muhammetgulyyev	Turkmenistan	Silver	66.40
62	Takahiro Takemoto	Japan	Silver	65.92
63	Kohei Nishiura	Japan	Silver	65.65
64	Bruno Andrzej Skoczen	Poland	Silver	65.63
65	Khaidar Kairbek	Kazakhstan	Silver	65.20
66	Mohammad Solaiman AlHadlaq	Saudi Arabia	Silver	64.93
67	Marek Pavlica	Czech Republic	Silver	64.38

Rank	Name	Country	Medal	Total
68	Ehsan Naderi Donig	Iran	Silver	64.21
69	Patrik Žnidaršič	Slovenia	Silver	64.00
70	Seoyeon Kim	Korea	Silver	63.13
71	Gerel Bayarmagnai	Mongolia	Silver	62.88
72	Temujin Orkhon	Mongolia	Silver	62.78
73	Kien Phuong	United States of America	Silver	62.56
74	Tong Wu	Ireland	Silver	61.87
75	Zachary John McGuire	United Kingdom	Silver	61.69
76	Rishit Singla	India	Silver	61.60
77	Andy Cai	Canada	Silver	61.36
78	Lita Tantipraphat	Thailand	Silver	60.66
79	Džonatans Miks Melgalvis	Latvia	Silver	60.60
80	Yuya Koike	Japan	Silver	60.54
81	Mohammad Rashed AlHudaihi	Saudi Arabia	Silver	60.11
82	Abdulaziz Abdulrahman AlJuaid	Saudi Arabia	Silver	59.89
83	Matúš Tomčo	Slovakia	Silver	59.85
84	Itamar Steinitz	Israel	Silver	59.60
85	Gozel Dovranova	Turkmenistan	Silver	59.56
86	Ron Angelo A. Gelacio	Philippines	Silver	58.34
87	Simon Bukovšek	Slovenia	Silver	57.50
88	Michael Schembera	Austria	Silver	57.20
89	Sanzhar Bissenali	Kazakhstan	Silver	57.17
90	Tim Bastian Enders	Germany	Silver	57.12
91	Pavel Atanasov Nikolov	Bulgaria	Silver	56.83
92	Berdigylych Rejepbayev	Turkmenistan	Silver	56.72
93	Dávid Benkő	Hungary	Silver	56.28
94	Yusup Dovletmyradov	Turkmenistan	Silver	56.10
95	Madiyar Kassymaly	Kazakhstan	Silver	55.62
96	Povilas Dapsys	Lithuania	Silver	55.52
97	Nathan Wayne F. Ariston	Philippines	Silver	55.36
98	Daniils Kargins	Latvia	Silver	55.21
99	Jakub Krzysztof Kwiatkowski	Poland	Silver	54.81
100	Ihor Kholomieiev	Ukraine	Silver	54.71

Bronze Medal

Rank	Name	Country	Medal	Total
101	Kevin Lius Bong	Indonesia	Bronze	53.77
102	Tadas Danilevicius	Lithuania	Bronze	53.71
103	Khanim Yagublu	Azerbaijan	Bronze	53.59
104	Sathira Jantarakulchai	Thailand	Bronze	53.30
105	Irmuun Alfankhuyag	Mongolia	Bronze	53.07
106	Kamil Mambetov	Kyrgyzstan	Bronze	52.79
107	Neta Eiger	Israel	Bronze	52.75
108	István Babcsányi	Hungary	Bronze	52.51
109	Samuil Vladimirov Petkov	Bulgaria	Bronze	52.42
110	Durdona Muxtarxujayeva	Uzbekistan	Bronze	52.18
111	Lazar Savić	Serbia	Bronze	52.12
112	Hanif Muhammad Zhafran	Indonesia	Bronze	51.97
113	Darko Stojchev	North Macedonia	Bronze	51.86
114	Vladislavs Tiščenko	Latvia	Bronze	51.06
115	Maciej Swiatek	Austria	Bronze	50.96
116	Keith Wong	Australia	Bronze	50.89
117	Johann Sora Blakytņy	Germany	Bronze	50.81
118	Andrei Banica	Canada	Bronze	50.65
119	Firdavs Sobirov	Uzbekistan	Bronze	50.47
120	Ketevan Peranidze	Georgia	Bronze	50.47
121	Abdur-Raheem Idowu	Norway	Bronze	50.24
122	Ruben Tapia	France	Bronze	49.63
123	Austin Lin	Australia	Bronze	49.56
124	Patrik Fábrik	Slovakia	Bronze	49.56
125	Aigerim Turuspekova	Kazakhstan	Bronze	49.45
126	Nathanael Reza Putra Widjaja	Indonesia	Bronze	49.42
127	Edvards Jānis Treijs	Latvia	Bronze	49.41
128	Georgi Neliyanov Nedyalkov	Bulgaria	Bronze	49.28
129	Salman Huseynov	Azerbaijan	Bronze	48.49
130	Cassia Caroline Aguiar da Ponte	Brazil	Bronze	48.22
131	Angelina Rogatch	Belarus	Bronze	48.04
132	Benedek Sajósi	Hungary	Bronze	47.96
133	Alina Tumashyk	Belarus	Bronze	47.73
134	Nariman Shirinli	Azerbaijan	Bronze	47.44

Rank	Name	Country	Medal	Total
135	Saeed Sultan Baghdadi	Saudi Arabia	Bronze	47.39
136	Ahmad Thaer Ater	Syria	Bronze	47.36
137	Maha Ali	Syria	Bronze	47.32
138	Jorge García-Ponce	Mexico	Bronze	46.82
139	Michael Li	Canada	Bronze	46.71
140	Lukas Rost	Austria	Bronze	46.48
141	Teodor Svilenov Maslyankov	Bulgaria	Bronze	46.40
142	Nadun Naveendra Rajapaksha	Sri Lanka	Bronze	46.15
143	Yurii Okis	Ukraine	Bronze	46.09
144	Dimitrije Gligorovski	Serbia	Bronze	45.98
145	Achira Hansindu Kelambi Arachchige	Sri Lanka	Bronze	45.71
146	Marina Malta Nogueira	Brazil	Bronze	45.55
147	Fran Miletic	Croatia	Bronze	45.31
148	Haruhi Isse	Japan	Bronze	45.22
149	Jernej Birk	Slovenia	Bronze	45.05
150	Yangyi Qi	Sweden	Bronze	45.03
151	Aleksandr Beditski	Estonia	Bronze	44.70
152	Vincent Ng	Australia	Bronze	44.41
153	Anas Abbas	Syria	Bronze	44.28
154	Adam Szymon Sukiennik	Poland	Bronze	44.24
155	Tomáš Heger	Czech Republic	Bronze	44.08
156	Ikromiddin Boymahammadov	Uzbekistan	Bronze	43.17
157	Fynn Lasse Noah Kessels	Germany	Bronze	43.07
158	Jakub Sochor	Czech Republic	Bronze	43.03
159	Emilio Alonso Venegas-Hernandez	Mexico	Bronze	42.97
160	Michael Estes	Denmark	Bronze	42.57
161	Liis Siigur	Estonia	Bronze	42.57
162	Jochem van den Broek	Netherlands	Bronze	42.53
163	Nino Abesadze	Georgia	Bronze	42.01
164	Hayk Aghekyan	Armenia	Bronze	41.82
165	Aames Juriel B. Morales	Philippines	Bronze	41.19
166	Théodore Halley	France	Bronze	40.99
167	Valerian Mocreac	Moldova	Bronze	40.56
168	Alexandre Bloquel	France	Bronze	40.41
169	Laimis Jurkenas	Lithuania	Bronze	40.39

Rank	Name	Country	Medal	Total
170	Mahsati Piriyeva	Azerbaijan	Bronze	40.28
171	Daan Roger Stan Vanhaecke	Belgium	Bronze	40.26
172	Simonas Melaika	Lithuania	Bronze	40.10
173	Sandro Pfammatter	Switzerland	Bronze	39.92
174	Ioane Kapanadze	Georgia	Bronze	39.86
175	Fredi Manuel Barraza Hernandez	El Salvador	Bronze	39.45
176	Tatiana Sviriniuc	Moldova	Bronze	39.35
177	Mason Minghan Liu	New Zealand	Bronze	39.27
178	Ján Plachý	Slovakia	Bronze	39.06
179	Oscar Eric Moran Despard	Ireland	Bronze	38.93
180	Leonid Asatryan	Armenia	Bronze	38.91
181	Terry Wang	Canada	Bronze	38.77
182	Hana Gabriela Albuquerque Sousa	Brazil	Bronze	38.75
183	Tal Sason	Israel	Bronze	38.69
184	Tigran Harutyunyan	Armenia	Bronze	38.53
185	Andrei Kornijenko	Estonia	Bronze	38.41
186	Nevena Štokjović	Serbia	Bronze	38.31
187	Adelina Andrei	Moldova	Bronze	38.16
188	Samuel Kolesár	Slovakia	Bronze	37.99
189	Sebastian Jacob Krikke	Netherlands	Bronze	37.50
190	Paul Johann Dorfer	Austria	Bronze	37.47
191	Lin Bigom-Eriksen	Denmark	Bronze	37.19
192	Manujaya Praveen Wijesinghe	Sri Lanka	Bronze	36.84
193	Kiryl Maroz	Belarus	Bronze	36.57
194	Maxim Cojocari-Goncear	Moldova	Bronze	36.06

Honorable mention

Rank	Name	Country	Medal	Total
195	Bumchin Dolgormaa	Mongolia	Honorable Mention	35.43
196	Abhinav Chawla	New Zealand	Honorable Mention	35.00
197	Aku Hertell	Finland	Honorable Mention	34.86
198	Daria Klymenko	Ukraine	Honorable Mention	34.83
199	João Pedro Bonito Caldeira	Portugal	Honorable Mention	34.66
200	Théo Mignen	France	Honorable Mention	34.60
201	Ali Marouf	Syria	Honorable Mention	34.56
202	Olga Jerkovic Peric	Croatia	Honorable Mention	34.45
203	Sam Wuji Zhuang	New Zealand	Honorable Mention	34.40
204	Samuel Klaver	Finland	Honorable Mention	34.27
205	Vid Kavčič	Slovenia	Honorable Mention	33.37
206	Jessica Rebekka Kurmann	Switzerland	Honorable Mention	33.21
207	Safwan Sakib	Bangladesh	Honorable Mention	32.87
208	Gerardo Emiliano Gutierrez-Alvarez	Mexico	Honorable Mention	31.69
209	Rafael Dux	Luxembourg	Honorable Mention	31.43
210	Aoife Mary Morris	Ireland	Honorable Mention	31.06
211	Henri Kärpijoki	Finland	Honorable Mention	30.82
212	Dinithi Shalika Madhubhashini	Sri Lanka	Honorable Mention	30.61
213	Daniel Jiyoun Jang	New Zealand	Honorable Mention	30.57
214	Athanasios Feidakis	Greece	Honorable Mention	30.17
215	Jean-Marc Furlano	Luxembourg	Honorable Mention	29.88
216	Vaidik Rajesh Hurkat	United Arab Emirates	Honorable Mention	28.98
217	Mahin Kamal Sawdager	Bangladesh	Honorable Mention	28.76
218	Khalid Hasan Tuhin	Bangladesh	Honorable Mention	28.62

Others

Rank	Name	Country	Total
219	Emmanuel Sotomea-Renova	Mexico	28.20
220	Simen Mannsåker	Norway	28.15
221	Lizi Darchia	Georgia	27.62
222	Joachim Julian Klaussen	Norway	25.84
223	Dimitrios Stylianakis	Greece	25.71
224	Anastasia Aleksandrovna Sandamirskaya	Switzerland	25.41
225	Theodor Malte Novrup Redvall	Denmark	25.37
226	Nadezhda Ondrina	Kyrgyzstan	25.37
227	Nihit Agarwal	Qatar	25.34
228	Anja Spasovska	North Macedonia	25.09
229	Marko Preocanin	Croatia	24.75
230	Joseph Eghenevwegba Ikuru	Nigeria	24.57
231	Mariana Vilela Marta Rio Costa	Portugal	24.45
232	Sevada Nersisyan	Armenia	24.03
233	Jan Stojanovski	North Macedonia	23.86
234	Danijel Aleksic	Montenegro	23.62
235	Devavrat Verma	United Arab Emirates	22.86
236	Azamat Salamatov	Kyrgyzstan	22.58
237	Emily Alejandra Crespín Guerra	El Salvador	22.31
238	Melanie Muntz	Denmark	22.25
239	Ivan Reshetnikov	Kyrgyzstan	21.95
240	Vasileios Papastamopoulos	Greece	21.39
241	Tina Kalleson	Norway	21.12
242	Beatriz Crisóstomo Valério Figueiredo	Portugal	20.68
243	Leopold Kall	Sweden	20.48
244	Tawhid Muhammad Mubashwir	Bangladesh	20.47
245	Mihail Trajkov	North Macedonia	20.42
246	Kristoff John F. Padilla	Philippines	20.34
247	Jef H. K. Van Eester	Belgium	19.77
248	Lim Xu Yao	Malaysia	19.77
249	Yasmin Mahmood Abdulla Mohammad Ali	United Arab Emirates	19.52
250	Jasmin Jasarevic	Croatia	19.20
251	Agustín Corbo Borche	Uruguay	19.02
252	Ayesha Junaid	Pakistan	18.60

Rank	Name	Country	Total
253	Erik Bryland	Sweden	18.22
254	Mitchell Rikken	Netherlands	17.95
255	Nuriddin Valizoda	Tajikistan	16.99
256	Giorgos Papachristodoulou	Cyprus	15.63
257	Tiago Miguel Gomes de Sousa	Portugal	15.53
258	Dagur Bjorn Benediktsson	Iceland	14.71
259	Otto Keronen	Finland	14.59
260	Raphaël Menasce	Luxembourg	14.43
261	Mariano Díaz Borges	Uruguay	14.36
262	Luis Ronaldo Chavez Escamilla	El Salvador	13.81
263	Muhammad Mahdi da Costa	South Africa	13.57
264	Verónica Landaeta Hernández	Venezuela	13.42
265	Agustín Almeida Ahlers	Uruguay	13.25
266	Alberto Josué Alava Cedeño	Venezuela	12.91
267	Antoine Robin Chèvre	Switzerland	12.84
268	Louis Pecheur	Belgium	12.83
269	Lukas Schieble	Belgium	12.69
270	Christiana Kosta	Cyprus	12.62
271	Max Rudolf Antonius Karel van Hest	Netherlands	12.62
272	Arwa Al Hashimi	Oman	12.53
273	Wong Yi Yang	Malaysia	12.49
274	Elsa Bitzén	Sweden	12.38
275	Telma Jeanne Bonthonneau	Iceland	12.34
276	Jessica Thackeray	Cyprus	12.09
277	Bernie Lim Wei Yuan	Malaysia	12.03
278	Muhammad Yahya	Pakistan	11.58
279	Laurent Bommertz	Luxembourg	11.48
280	Sushanthi Anandaraja	Qatar	10.75
281	Sara Fahed Al ali Alahmad	Qatar	9.07
282	Muhammad Ismail	Pakistan	8.71
283	Iva Djurickovic	Montenegro	8.42
284	Ahmed Abdulaziz Alsabbagh	United Arab Emirates	8.36
285	Stylianios Tamasios	Cyprus	8.05
286	Daniel Heidar Jack	Iceland	7.88
287	Rameesha Khursheed	Pakistan	7.77

Rank	Name	Country	Total
288	Shawn Vernon Wong Siang Ray	Malaysia	7.72
289	Fanny Mariana Solís González	Costa Rica	7.33
290	Olivia Sojourner Dixon	Costa Rica	7.29
291	Maryam Al-Hatmi	Oman	7.25
292	Candela S. Gómez	Uruguay	7.08
293	Muhammadzhon Otakhonov	Tajikistan	7.06
294	Abdullah Al-Azri	Oman	6.99
295	Alayna Ragbar	Trinidad and Tobago	6.89
296	Aiden Ramgoolam	Trinidad and Tobago	6.21
297	Vineeta Bujhawan	Trinidad and Tobago	6.12
298	Lujaina Al Badi	Oman	5.61
299	Isak Hugi Einarsson	Iceland	5.58
300	Ignacio Herrera Gamboa	Costa Rica	5.19
301	Mohammed TanweerAlli	South Africa	5.02
302	Jaasiel Edwards	Trinidad and Tobago	4.55
303	Asmahan Abdulaziz Al-Kuwari	Qatar	4.54
304	Erkam Cihan Caglak	South Africa	4.33
305	Brenda Nicole Juarez Marroquín	El Salvador	4.01
306	Ifeanyichukwu Valentine Umeanyika	Nigeria	2.99
307	Ksenija Tadic	Montenegro	2.79
308	Abdul-Baasit Salie	South Africa	1.92
309	Milica Zizic	Montenegro	1.41
unfortunate absence	Siim Tiivel	Estonia	—
unfortunate absence	Rtvik Patel	United Kingdom	—
unfortunate absence	Winston Ukpog	Nigeria	—

【アクティビティ】

国際化学オリンピックでは試験のほか、「開催国の文化・社会の体験」、「参加者同士の国際交流」なども重要な目的となっており、多彩な企画が行われている。しかし第53回国際化学オリンピック2021日本大会では新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によってリモート開催となり、多くの変更を余儀なくされた。実行委員会ではこうした国際化学オリンピックの目的を達成するため、VR、アバター技術、3D動画などの技術を活用し、通常大会では実施困難な企画、“リモートならではの”の企画を実施、公開した。

(1) サイエンス分野

1. 実験試験解説動画の公開

科学委員会では3つの実験試験問題（案）を用意したが、実験試験は中止となった。

このため科学委員会、実行委員会では準備していた実験試験問題について解説付き実験動画を制作、公開した。その後、ホームページ上で一般にも公開した。

[<https://www.icho2021.org/problems/practical/>]

実際に実験試験を予定していた近畿大学の実験室で、近畿大学の学生が実験を行って、これを収録し、英語ナレーションは同世代の京都府立嵯峨野高等学校の高校生が担当して制作した。

現在、日本国内の中学・高校生、教育関係者にも利用していただくため、嵯峨野高等学校の協力で、日本語版「実験試験解説動画」を制作しており、近くホームページで公開する予定である。

2. 大型放射光研究施設「SPring-8」の3Dバーチャルツアー

最先端の科学研究拠点の見学は科学を目指す生徒にとって魅力的なコンテンツである。しかし、スペース、安全性の観点から大勢の高校生が訪問、見学することは困難である。

今回、リモート開催ならではの企画として、高輝度光科学研究センター（JASRI）、理化学研究所放射光科学研究センター（RSC）に協力していただき、世界有数の放射光研究施設である「SPring-8」の見学ツアーを企画した。3D映像とVR、アバター技術によって、「SPring-8」施設内を自由に見学し、研究機器や研究内容の説明を受けることができるバーチャルツアーを実現した。広く一般にも公開した。

[<https://www.icho2021.org/videos/spring-8/>]

(2) 伝統技術・社会分野

1. 仏像修復技術と奈良

文化財として価値の高い仏像の修復には化学の力が大きく貢献している。世界文化遺産「古都奈良の文化財」である元興寺、仏像など文化財保護に取り組んでいる元興寺文化財研究所に協力していただき、仏像修復技術を紹介するとともに、参加生徒が宿泊する予定であった古都奈良の観光名所を紹介する動画を公開した。

2. 姫路城

1993年にわが国初めて世界文化遺産に登録され、2015年に保存修復が完了、公開された国宝姫路城の動画を紹介した。

3. 京都、大阪観光動画

京都文化交流コンベンションビューロー、大阪観光局の協力を得て、京都、大阪を紹介する動画を紹介した。

(3) 国際交流

国際化学オリンピックの目的である国際交流の機会を提供するため、VR空間に生徒、メンターのアバターが集まり、自由に交流できる“場”を設置、理論試験終了から毎日24時間開放した。

【事業対象3カ年の収支】

(1) 収入

3カ年の事業期間における主たる収入は1. 参加費、2. 寄付金、3. 科学技術振興機構の「国際科学技術コンテスト支援事業助成金」であった。

1. 参加費

国際化学オリンピックの参加費は通常1カ国1チーム（生徒4名、メンター2名編成）で3000ドルとなっている。日本大会ではリモート大会となったため、1カ国1チーム10万円、オブザーバーおよびゲスト1人当たり5万円と決定した。参加国79カ国、オブザーバー参加51名、ゲスト1名が参加した結果、為替差額を含め参加費総額は978万8584円であった。

2. 寄付金

募金活動による寄付金は法人・企業178社2億1840万9983円、62名の個人から221万9000円、小計2億2062万8983円、ACS(American Chemical Society)、IUPAC(International Union of Pure and Applied Chemistry)、CSLT(Chemical Society Located in Taipei)から寄付金6500ドル(70万8740円)と合わせた寄付金総額は2億2133万7723円であった。

なお、ACS、IUPAC、CSLTからの寄付は、参加国の参加費補助へ用途が限定されている。第53回国際化学オリンピック2021日本大会における参加費補助額はS.C.への申請に基づいてS.C.によって承認され、5750ドルが補助された。残額の750ドルは第54回国際化学オリンピック中国大会での補助に回される。

3. JST助成金

JSTの「国際科学技術コンテスト支援事業助成金」は総事業費のうち最大2分の1助成となっており、毎年度審査が行われ決定される。この結果、2019年度～2021年度の3カ年の総助成額は1億8296万8442円であった(2021年度は支出額が予算を下回ったため、事後審査で減額の見込み)。

(2) 支出

第53回国際化学オリンピック2021日本大会がリモート大会となったことによって、想定した支出費目が大きく変わった。参加者の宿泊費、バス移動費、食費などの費目で予算額に対して大幅に減少した一方、開会式・閉会式、アクティビティなどのVR、アバター、動画制作費、表彰状、メダル、記念品などの海外送料などリモート大会にともなう費用が新たに発生した。

3カ年支出額の多くを占める大会当年度の2021年度予算では支出3億2825万円を見込んでいたが、予算管理を徹底した結果、2億8981万2462円にとどまり、3カ年の支出総額は3億6480万482円となった。

[第53回国際化学オリンピック2021日本大会収支(2019.4.1～2021.3.31)]

勘定科目	合計
寄付金収入	221,337,723
JST 助成金	182,968,442
日本大会参加費	9,788,584
受取利息	19,139
雑収入	47,240
経常収益計	414,161,128

詳細

寄付金収入		
	ACS、IUPAC、CSLT からの寄付	708,740
	企業からの寄付	218,409,983
	個人からの寄付	2,219,000
合計		221,337,723

ACS (American Chemical Society)

IUPAC (International Union of Pure and Applied Chemistry)

CSLT (Chemical Society Located in Taipei)

勘定科目	合計
給料手当	46,648,156
雑給	4,003,500
賞与	4,800,000
謝金	893,896
法定福利費	431,605
福利厚生費	39,200
外注費	236,581,703
会議費	1,088,485
旅費交通費	10,140,900
通信費	1,386,616
消耗品費	19,688,986
水道光熱費	324,519
諸会費	12,960
支払手数料	270,148
地代家賃	9,712,417
リース料	3,585,146
賃借料	24,200
租税公課	106,250
保険料	1,800
支払報酬料	464,600
寄付金	442,460
業務委託費	22,051,104
参加費	1,963,306
印刷費	90,325
雑費	13,000
赴任費	35,200
販売管理費計	364,800,482

詳細

IChO 2021 日本大会直接経費 2021.7.25～8.2		
	アバター製作費	75,963,800
	ビデオ製作費	58,328,050
	労務費	10,349,840
	開会式、閉会式製作費	6,050,000
	関係者宿泊費	7,759,719
	会議室賃貸料	60,181,044
	関係者食事代	1,081,942
	宅配料他	505,999
	パソコンレンタル料、管理料他	3,596,230
	メダル、記念品製作費	10,915,550
	海外宅配便送料	9,235,502
	アルバイト料	1,474,500
合計		245,442,176

【寄付：法人企業（五十音順）】

旭化成株式会社
旭有機材株式会社
株式会社アストム
アヅマ株式会社
株式会社 ADEKA
荒川化学工業株式会社
アロン化成株式会社
伊勢化学工業株式会社
出光興産株式会社
出光ファインコンポジット株式会社
出光ユニテック株式会社
伊藤忠商事株式会社
稲畑産業株式会社
宇部エクシモ株式会社
宇部 MC 過酸化水素株式会社
株式会社 UBE 科学分析センター
宇部興産株式会社
宇部フィルム株式会社
宇部物流サービス株式会社
宇部マテリアルズ株式会社
株式会社エイアンドティー
AGC 株式会社
ENEOS 株式会社
MGC エージレス株式会社
MGC エレクトロテクノ株式会社
MGC フィルシート株式会社
MT アクアポリマー株式会社
株式会社大阪ソーダ
大阪有機化学工業株式会社
オリエント化学工業株式会社
オルガノ株式会社
花王株式会社
香川トクヤマ株式会社
株式会社カネカ
株式会社カネカテクノリサーチ
関西化学機械製作株式会社
関西化学工業協会
関西触媒化学株式会社
関西トクヤマ販売株式会社
共栄社化学株式会社
共和工業株式会社
株式会社クラレ
株式会社クレハ
広栄化学工業株式会社
株式会社合同資源
堺化学工業株式会社
阪本薬品工業株式会社
サン・アロー化成株式会社
サンアロマー株式会社
サン・トックス株式会社
株式会社三宝化学研究所
サンメディカル株式会社
三洋化成工業株式会社
JSR 株式会社
株式会社 JSP
シプロ化成株式会社
ジャパンコンポジット株式会社
周南システム産業株式会社
株式会社周南スイミングクラブ
純正化学株式会社
昭光通商株式会社
昭和アルミニウム缶株式会社
昭和電工株式会社
昭和電工アルミ販売株式会社
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
昭和電工建材株式会社
昭和電工研装株式会社富山本社
昭和電工セラミックス株式会社

昭和電工パッケージング株式会社
昭和電工マテリアルズ株式会社 (旧日立化成)
昭和ファインセラミックス株式会社
信越エンジニアリング株式会社
信越化学工業株式会社
信越石英株式会社
信越半導体株式会社
信越ポリマー株式会社
新第一塩ビ株式会社
株式会社住化分析センター
住友化学株式会社
住友商事株式会社
住友精化株式会社
住友ベークライト株式会社
西部徳山生コンクリート株式会社
積水化学工業株式会社
積水化成品工業株式会社
積水樹脂株式会社
株式会社ダイセル
大日精化工業株式会社
大日本塗料株式会社
大八化学工業株式会社
太陽ホールディングス株式会社
田岡化学工業株式会社
多木化学株式会社
中国生コンクリート株式会社
鶴崎共同動力株式会社
DIC グラフィックス株式会社
TD パワーマテリアル株式会社
帝人株式会社
デンカ株式会社
デンカエンジニアリング株式会社
デンカ生研株式会社
デンカポリマー株式会社
東亜合成株式会社
東京液化酸素株式会社
東京トクヤマコンクリート株式会社
東ソー株式会社
株式会社東邦アーステック
東レ株式会社
東レ・デュポン株式会社
東レ・ファインケミカル株式会社
株式会社東レリサーチセンター
株式会社トクショウ
株式会社トクシン
株式会社トクヤマ
株式会社トクヤマエムテック
株式会社トクヤマ情報サービス
株式会社トクヤマソーダ販売
トクヤマ通商株式会社
株式会社トクヤマデンタル
株式会社トクヤマ METEL
株式会社トクヤマロジスティクス
トミテック株式会社
豊田通商株式会社
豊通ケミプラス株式会社
株式会社豊海
長瀬産業株式会社
新潟昭和株式会社
西日本レジコート株式会社
日油株式会社
日産化学株式会社
日信化学工業株式会社
日鉄ケミカル&マテリアル株式会社
日宝化学株式会社
日本アルキルアルミ株式会社
日本化学工業協会親和会
日本化薬株式会社
日本酢ビ・ポパール株式会社
株式会社日本触媒
日本ゼオン株式会社
日本石油輸送株式会社

日本乳化剤株式会社
日本ペイントホールディングス株式会社
日本ユピカ株式会社
ハリマ化成グループ株式会社
PS ジャパン株式会社
日之出化学工業株式会社
福田金属箔粉工業株式会社
芙蓉パーライト株式会社（廃業）
株式会社プライムポリマー
公益財団法人篷庵社
株式会社ポラテクノ
本州化学工業株式会社
松垣薬品工業株式会社
丸善石油化学株式会社
丸菱油化工業株式会社
丸紅株式会社
三井化学株式会社
三井化学アグロ株式会社
三井化学 SKC ポリウレタン株式会社
三井化学サンアロイ株式会社
三井化学産資株式会社
三井化学東セロ株式会社
三井化学ファイン株式会社
株式会社三井化学分析センター
三井・ダウ ポリケミカル株式会社
三井物産株式会社
三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社
三菱ガス化学株式会社
株式会社三菱ケミカルホールディングス
三菱商事株式会社
株式会社三ツワフロンテック
明和化成株式会社
森田化学工業株式会社
ヤマキ商事株式会社
山口リキッドハイドロジェン株式会社
山本化成株式会社

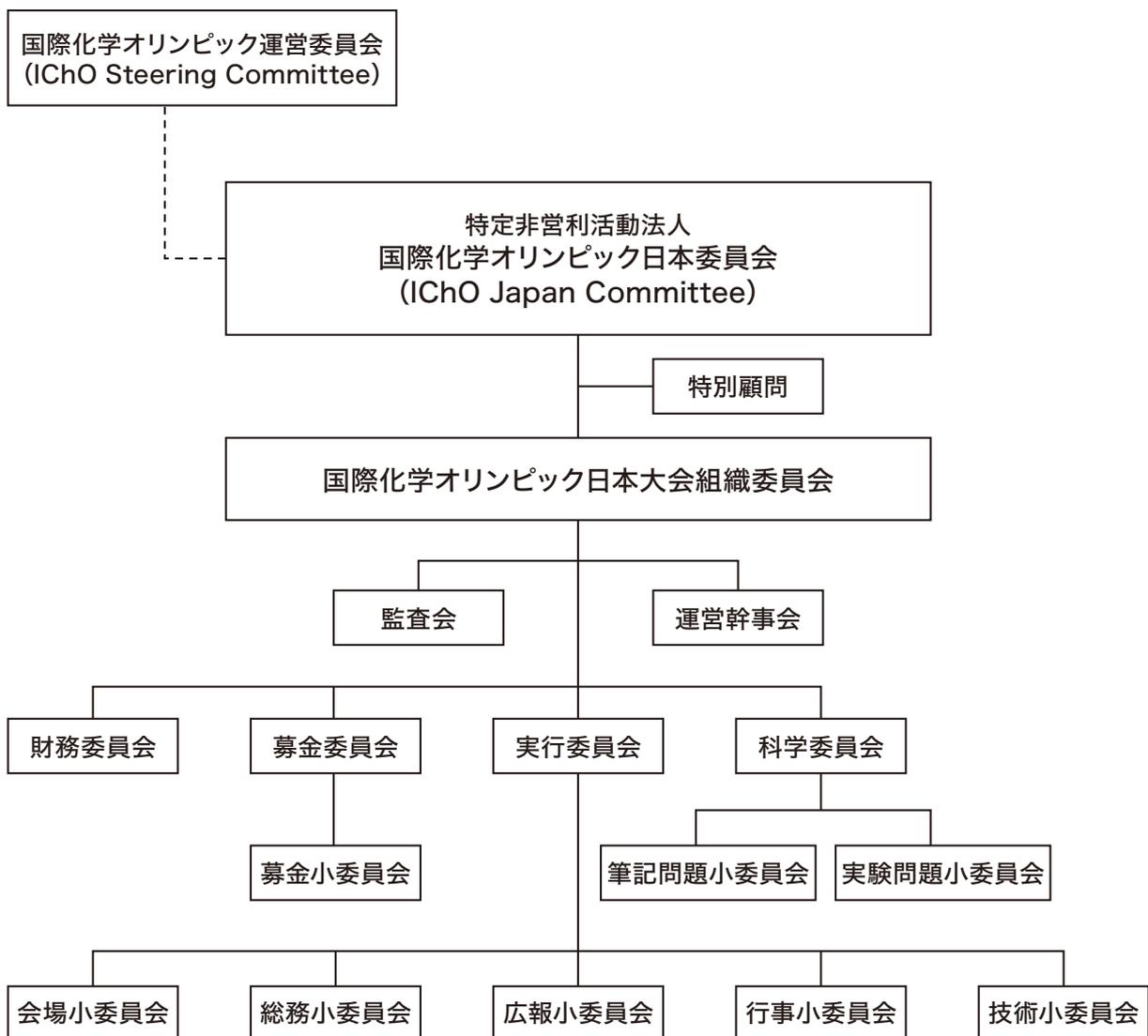
ユニオン昭和株式会社
ライオン株式会社

【寄付：個人(五十音順)】

泉 良	中藪 尚子
伊藤 真人	中村 慶雄
伊藤 優	西出 徹雄
井上 貴美子	西本 右子
植村 卓史	新田 末広
大内 誠	橋浦 友子
大江 浩一	兵藤 友紀
小川 毅	平松 茂樹
小川 哲弥	広江 治子
片岡 靖隆	廣津 昌和
香西 俊史	堀 久男
加部 義夫	牧野 順子
河合 明雄	牧野 格
川本 達也	松原 誠二郎
菊地原 愛	松原 世明
木原 伸浩	三浦 雅博
小金沢 貴志子	南方 聖司
小坂 美貴子	宮川 恵子
小笹 哲夫	宮本 一弘
子安 純	森田 正直
渋谷 綾子	森本 積
荘司 隆一	山西 克典
菅 裕明	山本 佳世子
鈴木 健太郎	横井 邦彦
瀬田 学	横山 宙
瀬田 裕	吉野 邦之
武井 尊也	李 友慈
竹内 恵	渡邊 信子
田中 義靖	
力石 紀子	
辻 勇人	
東方 宏	
永井 靖隆	
中川 雅博	

【委員会】

【組織図】



■国際化学オリンピック日本委員会

理事長

玉尾 皓平
理化学研究所
豊田理化学研究所

副理事長

高橋 恭平
昭和電工株式会社

理事

近藤 忠夫
株式会社日本触媒

高下 貞二
積水化学工業株式会社

中條 善樹
京都大学

西原 寛
東京大学

監事

藤吉 建二
三井化学株式会社

川合 真紀
分子科学研究所

竜田 邦明
早稲田大学

山本 尚
中部大学

佐々木 真哉
国際化学オリンピック日本委員会事務局

瀬田 博
国際化学オリンピック日本委員会事務局

■特別顧問（五十音順）

岩澤 康裕
電気通信大学特任教授
東京大学名誉教授

小林 喜光
三菱ケミカルホールディングス会長
経済同友会代表幹事

榊原 定征
東レ相談役
日本経済団体連合会会長

中西 宏幸
三井化学名誉顧問

野依 良治
科学技術振興機構研究開発戦略センター長

藤嶋 昭
東京理科大学学長
東京大学名誉教授

村井 眞二
大阪大学名誉教授
奈良先端科学技術大学院大学名誉教授

米倉 弘昌
住友化学相談役
日本経済団体連合会前会長

■組織委員会

(2017年12月6日 組織委員会発足時)

委員長

玉尾 皓平
理化学研究所
豊田理化学研究所

副委員長

高橋 恭平
昭和電工株式会社

高下 貞二
積水化学工業株式会社

近藤 忠夫
株式会社日本触媒

中條 善樹
京都大学

西原 寛
東京大学

委員

塩崎 均
近畿大学

細井 美彦
近畿大学

江口 太郎
近畿化学協会

石飛 修
日本化学工業協会

池田 全徳
関西化学工業協会

石塚 博昭
新化学技術推進協会

山本 尚
日本化学会

藤原 健嗣
化学工学会

中條 善樹
高分子学会

江口 浩一
触媒学会

宇田川 憲一
電気化学会

武藤 潤
石油学会

奥 直人
日本薬学会

佐藤 隆一郎
日本農芸化学会

岡田 哲男
日本分析化学会

救仁郷 豊
日本エネルギー学会

平尾 一之
日本セラミックス協会

吉田 潤一
有機合成化学協会

中尾 真一
日本化学連合

細矢 治夫
日本コンピュータ化学会

木原 伸浩
実行委員会・科学委員会

佐々木 真哉
国際化学オリンピック日本委員会事務局

オブザーバー委員

松尾 泰樹
文部科学省

多田 明弘
経済産業省

加藤 昌子
日本学術会議 化学委員会

真先 正人
科学技術振興機構

沖村 憲樹
科学技術広報財団

宮本 信之
日本理化学協会

山谷 安雄
全国中学校理科教育研究会

細田 修二
日本放送協会

村山 知博
朝日新聞社

石田 勲
朝日新聞社

元村 有希子
毎日新聞社

滝田 恭子
読売新聞社東京本社

矢野 寿彦
日本経済新聞社

高橋 宏一郎
共同通信社

織田島 修
化学工業日報社

竹内 敬三
科学新聞社

■募金委員会／募金小委員会

募金委員会委員長

高橋 恭平
昭和電工株式会社

募金小委員会委員長

石川 徹三
昭和電工株式会社

企業名（五十音順）

旭化成株式会社
出光興産株式会社
宇部興産株式会社
AGC 株式会社
ENEOS 株式会社
花王株式会社
株式会社カネカ
JSR 株式会社
昭和電工マテリアルズ株式会社
信越化学工業株式会社
住友化学株式会社
住友ベークライト株式会社
積水化学工業株式会社
株式会社ダイセル
DIC 株式会社
帝人株式会社
デンカ株式会社
東亜合成株式会社
東ソー株式会社
東レ株式会社
株式会社トクヤマ
日油株式会社
日産化学株式会社
日鉄ケミカル&マテリアル株式会社
日本化薬株式会社
株式会社日本触媒
日本ゼオン株式会社
富士フイルム株式会社
三井化学株式会社
三菱ガス化学株式会社
株式会社三菱ケミカルホールディングス

募金委員会委員

柿沢 信行
丸山 和夫
玉田 英生
平井 良典
岩崎 努
久保 英明
岩澤 哲
菅原 周一
豊嶋 光由
岡本 博明
新沼 宏
稲垣 昌幸
竹友 博幸
高部 昭久
酒井 一成
大八木 成男
中野 健次
美保 享
西澤 恵一郎
平林 秀樹
岩崎 史哲
林 俊行
宮地 克明
飯島 聡
橘 行雄
長砂 欣也
横田 真
柳原 直人
久保 雅晴
水上 政道
藤原 謙

募金小委員会委員

志田原 周作
山田 材
阿久刀川 治
伊勢村 次秀
加藤 秀康
前田 晃嗣
古川 直樹
江利山 祐一
能美 千恵
楯 直人
畑山 隆
相庭 博
大西 康二
松山 房喜
藤巻 正典
白羽 優
浅見 清
林 直人
小栗 元宏
青木 拓実
加藤 弘之
楠見 肇
渡邊 久幸
石井 秀雄
井上 佳美
和田 輝久
鈴木 輝彦
柴田 路宏
松永 秋彦
島 義和
松本 啓二

■財務委員会

(2019 年度)

委員長

近藤 忠夫
株式会社日本触媒

委員

石川 徹三
昭和電工株式会社

南方 聖司
大阪大学

森安 里志
株式会社島津製作所

高橋 政巳
近畿化学協会

青木 康
関西化学工業協会

(2020 年度)

委員長

高下 貞二
積水化学工業株式会社

委員

石川 徹三
昭和電工株式会社

南方 聖司
大阪大学

糸井 弘人
株式会社島津製作所

才寺 高英
近畿化学協会

新内 宏幸
関西化学工業協会

(2021 年度)

委員長

高下 貞二
積水化学工業株式会社

委員

石川 徹三
昭和電工株式会社

南方 聖司
大阪大学

糸井 弘人
株式会社島津製作所

才寺 高英
近畿化学協会

富永 英樹
関西化学工業協会

■科学委員会

委員長

西原 寛
東京大学

副委員長

木原 伸浩
神奈川大学

■科学委員会筆記問題小委員会

委員長

依光 英樹
京都大学

委員

内田 さやか
東京大学

奥山 弘
京都大学

齊藤 颯
京都大学

笹森 貴裕
名古屋市立大学

佐藤 啓文
京都大学

下川 淳
京都大学

新谷 亮
大阪大学

田中 隆行
京都大学

椿 一典
京都府立大学

西 直哉
京都大学

長谷川 健
京都大学

廣井 卓思
東京大学

細川 三郎
京都大学

堀毛 悟史
京都大学

松本 吉泰
豊田理化学研究所

山口 浩靖
大阪大学

■科学委員会実験問題小委員会

委員長

黒田 孝義
近畿大学

委員

古南 博
近畿大学

末永 勇作
近畿大学

須藤 篤
近畿大学

納谷 真一
近畿大学

野間 直樹
近畿大学

福田 貴光
近畿大学

松尾 司
近畿大学

山際 由朗
近畿大学

■実行委員会

委員長

中條 善樹
京都大学

副委員長

木原 伸浩
神奈川大学

■実行委員会会場小委員会

委員長

藤原 尚
近畿大学

委員

石船 学
近畿大学

安田 誠
大阪大学

山口 仁宏
近畿大学

■実行委員会総務小委員会

委員長

三浦 雅博
大阪大学

委員

植村 卓史
東京大学

大内 誠
京都大学

住田 康隆
日本触媒

南方 聖司
大阪大学

■実行委員会技術小委員会

委員長

辻 康之
京都大学

副委員長

藤原 哲晶
京都大学

委員

田中 一生
京都大学

中尾 佳亮
京都大学

■実行委員会行事小委員会

委員長

横井 邦彦
大阪教育大学

副委員長

松原 誠二郎
京都大学

委員

浅野 圭佑
京都大学

岡野 健太郎
神戸大学

片岡 靖隆
奈良女子大学

神戸 宣明
大阪大学

槌間 聡
帝塚山高校

中川 雅博
京都府立鴨沂高校

藤田 健一
京都大学

森本 積
奈良先端科学技術大学院大学

■実行委員会広報小委員会

委員長

戸部 義人
大阪大学

副委員長

小西 彬仁
大阪大学

森 敦紀
神戸大学

山崎 友紀
法政大学

委員

池田 亜希子
サイテック
サイエンスプロデューサー・ライター

今田 泰嗣
徳島大学

梶井 文子
化学同人

兼田 照久
大阪府立住吉高等学校

清川 謙介
大阪大学

越野 省三
神戸国際大学附属高等学校

田中 義靖
東京都立多摩科学技術高等学校

津留崎 陽大
大阪府立大学

西山 豊
関西大学

真鍋 良幸
大阪大学

山角 拓也
京都大学

■事務局

佐々木 真哉
国際化学オリンピック日本委員会

瀬田 博
国際化学オリンピック日本委員会

古徳 順子
国際化学オリンピック日本委員会

[協力委員]

■科学委員会筆記問題小委員会

石井 敬直
東京大学

鹿又 喬平
大阪大学

澁谷 亮太
東京大学

竹内 碧
東京大学

田中 成
リコー

西口 大智
京都大学

西野 拓巳
東京大学

服部 陽平
龍谷大学

林 璃菜子
京都大学

平 翔太
京都大学

吉村 耕平
東京大学

■科学委員会実験問題小委員会

伊畷 康樹
近畿大学

伊藤 大将
近畿大学

井上 晴輝
近畿大学

大北 光咲
近畿大学

大林 智洋
近畿大学

奥野 紘司
近畿大学

奥野 真子
近畿大学

越智 晴香
近畿大学

笠原 直人
近畿大学

蚊野 佑亮
近畿大学

川北 翼
近畿大学

岸 高稚
近畿大学

北原 真穂
近畿大学

桐山 桃花
近畿大学

国本 丈司
近畿大学

汲田 向耀
近畿大学

黒川 宏太
近畿大学

小泉 風音
近畿大学

小阪 空
近畿大学

小嶋 友也
近畿大学

櫻 空
近畿大学

佐々木 亮輔
近畿大学

島田 琢也
近畿大学

清水 真樹子
近畿大学

菅 俊亮
近畿大学

田頭 奈々
近畿大学

津村 明宏
近畿大学

中川 雄太
近畿大学

野平 匠
近畿大学

迫間 幸広
近畿大学

早川 開都
近畿大学

東林 智也
近畿大学

福本 匠馬
近畿大学

松田 優輝
近畿大学

松葉 大輝
近畿大学

三根 海夢偉
近畿大学

壬生 託人
近畿大学

宮前 圭祐
近畿大学

元林 夏樹
近畿大学

森田 陽子
近畿大学

森本 亮
近畿大学

矢倉 将吾
近畿大学

山崎 智輝
近畿大学

吉田 兆志
近畿大学

若山 千聡
近畿大学

■実行委員会技術小委員会

飯塚 大輔
京都大学

石村 百絵
京都大学

大畠 真輝
京都大学

越智 純毅
京都大学

北岡 温
京都大学

黒石 健太
京都大学

小坂 恒平
京都大学

酒井 優希
京都大学

櫻木 誠也
京都大学

島崎 優斗
京都大学

島田 莉子
京都大学

関 凜
京都大学

高橋 宏昌
京都大学

谷口 徹
京都大学

谷村 和哉
京都大学

長瀬 光太郎
京都大学

中村 将志
京都大学

松下 直樹
京都大学

矢木 智章
京都大学

山田 夏実
京都大学

■実行委員会行事小委員会

高橋 正莉
近畿大学

竹邊 日和
京都大学

不動 愛理
近畿大学

■実行委員会広報小委員会

今井 静
大阪大学

岩佐 春奈
大阪大学

木戸 一喜
大阪大学

西改 美希
大阪大学

笹谷 祥大
大阪大学

杉原 尚季
大阪大学

田中 大貴
大阪大学

丁 在瑛
京都大学

掘井 康稀
大阪大学

安村 優澄
京都大学

矢田 哲治
大阪大学

山角 拓也
京都大学

若井 裕太郎
京都大学

【ご協力御礼(敬称略)】

■共催

国立研究開発法人科学技術振興機構

■後援

文部科学省

経済産業省

大阪市教育委員会

■会場提供

近畿大学

塩崎 均

細井 美彦

藤原 尚

■SPring-8 バーチャルツアー

企画

高輝度光科学研究センター

理化学研究所放射光科学研究センター

雨宮 慶幸
高輝度光科学研究センター

石川 哲也
理化学研究所放射光科学研究センター

高谷 光
京都大学

杉本 邦久
高輝度光科学研究センター

為則 雄祐
高輝度光科学研究センター

久木 一郎
大阪大学

高尾 正敏
大阪大学

上野 隆史
東京工業大学

東 周論
理化学研究所放射光科学研究センター

沖西 りえ
理化学研究所放射光科学研究センター

制作・撮影協力

河口 彰吾
理化学研究所放射光科学研究センター

小谷 佳範
理化学研究所放射光科学研究センター

宇留賀 朋哉
理化学研究所放射光科学研究センター

長谷川 和也
理化学研究所放射光科学研究センター

上杉 健太郎
理化学研究所放射光科学研究センター

安武 正展
理化学研究所放射光科学研究センター

上相 真之
理化学研究所放射光科学研究センター

鈴木 基寛
関西学院大学

唯 美津木
名古屋大学

■実験試験解説動画ナレーション

京都府立嵯峨野高校

■実験試験解説動画

京都府立鴨沂高校

■大会総合企画・運営

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス

水野 智一
高梨 かおり
梶川 大介
石橋 佑未子
野田 さゆり
田中 里沙
中林 理子
中村 優香

■京都市紹介動画提供

京都文化交流コンベンションビューロー

■大阪市紹介動画提供

大阪観光局

■仏像修復動画提供

元興寺文化財研究所

■大会本部会場

都ホテル京都八条

■ Zoom 試験実施体制構築と運営

清水 弘一
シミズ・シーエス株式会社

■報告書編集・印刷、海外送付業務

ミツバ総合印刷株式会社

柴田 久美子
川合 明佳

■ホームページ企画・制作

株式会社アイ・エス・シー

■キャラクターデザイン、Catalyzer デザイン

はやのん

■ Catalyzer 編集・校正

田原 佳子

■翻訳

片山 麻衣子

■英文校正

Tony Atkinson
Rader Jensen

■メダルデザイン・制作

博報堂

■事務局サポート

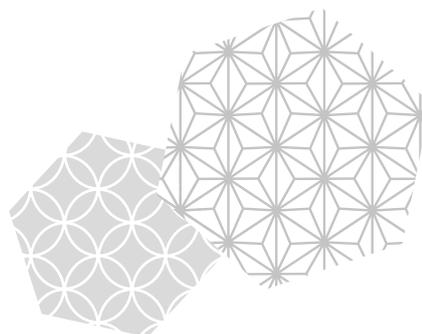
高松 園美

【謝辞】

第53回国際化学オリンピック2021日本大会は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のためリモート開催となったが、Steering Committee、世界各国のメンター、インビジレーター、JST、文部科学省、経済産業省、大阪府教育委員会、寄付をいただいた法人・企業、個人の方々、協力企業など多くの関係者のご支援、ご協力をいただいた。

事後、多くの国々のメンターから試験とその試験実施体制、きめ細やかな大会運営について高い評価と感謝のメールが届いたことを以って、成功を収めたと考えている。

関係者皆様に深く感謝し、篤く御礼を申し上げます。



第53回国際化学オリンピック2021日本大会 事業報告書

2022年5月30日 発行

発行：国際化学オリンピック日本委員会

編集・印刷：ミツバ総合印刷株式会社

